市長公約の取組状況

（令和7年1月から令和8年3月までの実施内容）

令　和　8　年　5　月

苫小牧市　総合政策部

はじめに

市長は当選の際、７つのビジョンを柱とする34項目91施策の公約を掲げました。苫小牧市では、これらを重要施策と位置づけて、４年間のうちに完了できるよう、着実に事業推進を図っています。取組開始から約１年４か月が経過した、令和７年度末時点での各公約の取組状況について、取りまとめましたので公表します。

今後も引き続き、公約に関連した事業を積極的に推進するとともに、社会状況の変化や制度の改正などに応じて、掲載外事業の実施など柔軟に対応していきます。また、取組状況については、定期的に進捗管理を行い全ての公約を達成できるよう、事業を進めてまいります。

市長公約の進捗状況の数値化

各公約は１～５つの施策から構成されております。各施策の年度末における進捗状況は、担当部署が10段階で評価を行いました。その後、各公約を構成する施策の評価から、各公約の進捗状況をパーセント表示で数値化しました。その結果は、次の２つの表でまとめてあります。

Ⅰ　市長公約取組状況

令和７年度末におけるビジョン、公約、施策の進捗状況を示しています。また、施策ごとに令和８年３月末までに実施した主な具体的な内容について記載しています。

Ⅱ　市長公約取組状況総括表

令和７年度末における公約の進捗状況を構成する各施策の平均値で示しています。

令和７年度末の進捗状況について

基本政策進捗　：　公約進捗状況を平均して算出
公約進捗　　：　１～５つの施策進捗状況を平均して算出
施策進捗　　：　担当部署が10段階評価を行った取組事業内容を平均して算出（円グラフで表記）

Ⅰ　市　長　公　約　取　組　状　況

（令和7年1月から令和８年3月までの実施内容）

vision 01

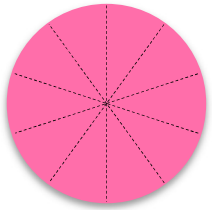
子どもど真ん中のまち 苫小牧
未来ある子どもたちへの投資促進！！

Vision 01 進捗状況 49%

01-1 子育て支援策の拡充

01-1 進捗状況 95%

小学校入学祝い金事業の実施

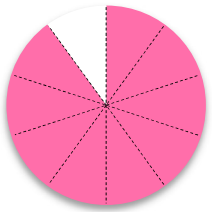


取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）

- 「小学校入学祝い給付事業」の実施にあたり、給付に関する実施要綱を策定しました。
- 策定した実施要綱に基づき、令和７年度新入学の小学生全員に対して、お祝い金（ギフトカード）を配布しました。

担当部署：子育て応援課

養育費請求の弁護士費用補助



取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）

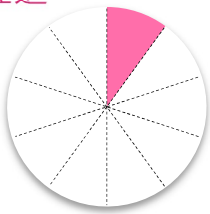
- ひとり親家庭等の経済的自立促進の充実を図るため、新たに養育費の履行確保のための費用を助成する制度（苫小牧市養育費確保事業）を創設しました。
- 令和８年度からの実施に向け、自立支援員による案内のほか、ホームページ等を通じて市民への周知を行いました。

担当部署：子育て応援課

01-2 子育て機能の拠点形成

01-2 進捗状況 22%

駅前再整備に伴う子どもの遊び場設置の検討を推進

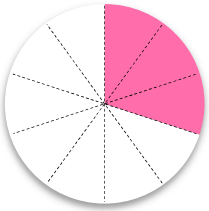


取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）

- 全天候型遊具広場の整備を含めた駅前再整備を進めるため、「リ・デザイン苫小牧グループ」と協定を締結し、共同で基本計画策定に着手しました。

担当部署：未来創造戦略室、こども政策課

一時保護機能の強化



取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）

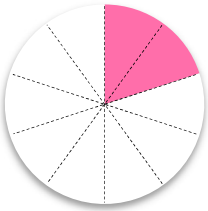
- 室蘭児童相談所苫小牧分室への一時保護所機能の設置に向け、東胆振・日高の１市11町で構成する期成会及び民生委員児童委員協議会が合同で北海道に要望書を提出しました。

担当部署：こども家庭支援室

01-3 子ども若者のメンタルヘルスケアの推進

01-3 進捗状況 25%

子育て相談総合窓口の設置

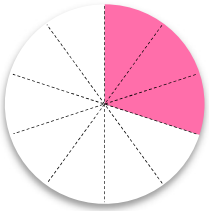


取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）

- 子育て相談総合窓口の設置による事務の効率化と市民サービス向上を図るため、関連部署の業務精査を行いました。
- 業務委託の可能性調査や事業者との協議を実施したほか、フロアレイアウト案の検討を行いました。

担当部署：こども政策課、幼保施設課、子育て応援課、こども若者支援課

居場所機能の充実を図る事業の展開



取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）

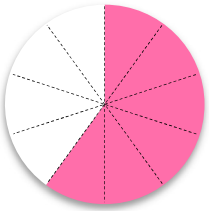
- 市内児童センターにおいて、中学生・高校生が居場所のひとつとして遊んだり、交流できる「中高生タイム」を実施しました。
- まちなか交流センターにおいて、社会福祉協議会と連携した中学生、高校生の居場所づくりの実施や学習スペースの実証を行いました。

担当部署：未来創造戦略室、こども若者支援課

01-4 ヤングケアラー支援体制の強化と進化

01-4 進捗状況 60%

ヤングケアラー交流会の開催



取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）

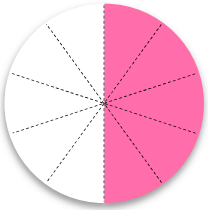
- ヤングケアラーについて理解し、市、関係機関及び地域全体で支える体制を構築するため、ヤングケアラーの交流の場である「かまくら」を55回実施したほか、交流会を試行的に実施しました。

担当部署：こども家庭支援室

01-5 医療的ケア児への支援体制強化

01-5 進捗状況 45%

いとい北保育園の建て替えに伴い医療的ケア児の受け入れを実施

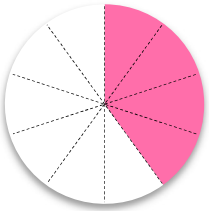


取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）

- 保育所等で医療的ケア児を受け入れる際に必要となる基本的な必要事項をまとめた「医療的ケア児の保育所等受入れガイドライン」を作成しました。
- いとい北保育園新園舎において実施する特別保育の内容等を踏まえた「苫小牧市立いとい北保育園建替基本計画」を作成しました。
- いとい北保育園新園舎建替え基本設計及び実施設計において、医療的ケアを行う医務室の概要を決定しました。

担当部署：こども家庭支援室、幼保施設課

５歳児健診の実施等、身体発育の確認機会拡大を推進



取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）

- ５歳児健診の実施に向け、先進自治体等(道内13自治体、道外14自治体)の調査を行いました。
- 関係者のワーキンググループを立ち上げ、実施に際しての課題や解決策等を協議しました。
- 医師等で構成する発達障がいに関する支援体制の検討会において、実施案の方向性を確認しました。

担当部署：こども家庭支援室

vision 02

経済発展最大化のまち 苫小牧

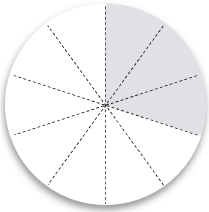
雇用を生んで、ストップ人口減！！企業とともに歩む！！
民間投資促進へトップセールス！！

Vision 02 進捗状況 31%

02-1 苫小牧ブランドの発信による関係人口の増加

02-1 進捗状況 30%

市外道外から人を呼び込むべく苫小牧の広告塔となって動く!

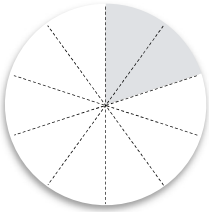


取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）

- ふるさと納税による特産品のPR並びに関係人口の創出に向け、苫小牧市ふるさと納税特設サイトを開設したほか、市内飲食店や宿泊・体験施設などで利用できる「ふるさとe-チケット」導入に向けた制度の構築を行いました。
- 本市の認知度向上とファン獲得を目的として、「W Port City苫小牧スペシャルナイター(冠協賛試合)」を開催しました。
- 東京都で開催された「何してつながる?!苫小牧 in TOKYO」へ市長自らが登壇し、本市の魅力をPRしました。
- ふるさと納税の新たな体験型返礼品(【トヨタ自動車北海道】ふるさと納税限定工場見学 ものづくり鋳造体験ツアー)をPRするため、市長自らがこの体験に参加しました。
- 「苫小牧市観光PR推進事業補助金」の交付により、民間主体の観光PRを促進し、地域の魅力発信力の向上を図りました。
- 認定特産品の情報を取りまとめたパンフレットを作成し、市外イベントでPRを行いました。
- 本市への進出意向がある企業に対して、市長自らがトップセールスを実施するなど、新たな企業との接点を創出しました。
- 市の魅力や将来像を効果的に発信するため、市長をはじめ、まちづくりの中心を担う関係者や、学生との対話を実施しました。

担当部署：政策推進課、シティプロモーション課、観光政策課、企業港湾政策課

従業員向けの住環境のPR強化による雇用の拡大



取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）

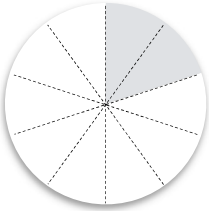
- 「とまジョブ」を活用して本市の住環境や地元企業の魅力等の発信を行いました。
- 市内各高校及び高専の進路指導担当教諭へのヒアリングのほか、学生を対象としたアンケートなど、就職に関する意識調査を行いました。
- 産業フィールド視察ツアーにおいて、進出意向を持つ企業に対して、本市の快適な住環境をPRするなど、情報提供を実施しました。
- ホームページ及びパンフレットにおいて、住環境に特化したコンテンツを設けるなど、住環境のPR強化を行いました。

担当部署：企業港湾政策課、工業雇用政策課

02-2 企業誘致のトップセールス実施、企業アプローチの体制強化

02-2 進捗状況 43%

ラピダス進出を起爆剤とした企業誘致活動の推進

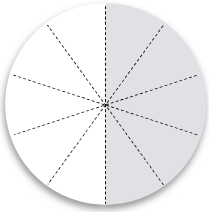


取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）

- ラピダス進出を契機とした企業誘致の推進に向け、本市への進出を検討している企業へ向けた市内視察ツアーを実施したほか、市長自らがトップセールスを行い、新たな企業との接点を創出しました。
- 関係部署との連携によるワンストップ対応を実施し、企業の手続き負担軽減と信頼関係の構築に取り組みました。

担当部署：企業港湾政策課

好機を逃さない積極的トップセールスの実施と適切な企業アプローチの推進

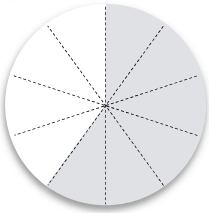


取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）

- 企業立地セミナー等で本市の立地環境をPRし、新たな企業との接点を創出したほか、進出意向のある企業に対して市長自らがトップセールスを実施し、複数の接点形成と継続的なフォローアップを実施しました。

担当部署：企業港湾政策課

GX特区指定による関連産業の投資誘発を推進

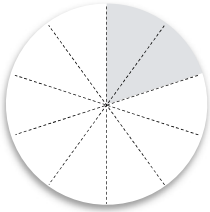


取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）

- GX関連産業に資する蓄電池工場の立地を検討する企業への協議を継続的に実施しました。
- 北海道と連携した現地視察の共同敢行や制度の活用支援を行った結果、蓄電池工場の進出が決定するなど、GX関連産業の企業誘致を促進しました。

担当部署：企業港湾政策課

北海道バレー構想の実現に向け強力参画

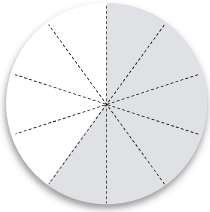


取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）

- 北海道バレー構想における本市の役割などについて、積極的なPRを行いました。
- 北海道バレービジョン協議会に参画し、関係企業・団体との情報交換等を実施しました。

担当部署：企業港湾政策課

企業アプローチの組織体制見直し



取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）

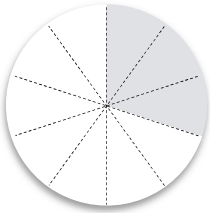
- ものづくり産業に加え、GXやDXなど、次世代を担う産業の企業誘致に即応するため、組織体制の見直しを行い、企業誘致に特化した組織を新設しました。

担当部署：行政経営室、企業港湾政策課

02-3 既存企業へのフォローアップ強化

02-3 進捗状況 27%

企業の課題などを積極的に情報収集する取り組みを推進

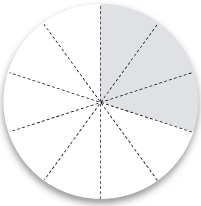


取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）

- 部長職が市内企業40社を訪問し、人材確保などの企業が抱える課題を共有するとともに、国や自治体が実施する支援施策の情報提供を行いました。
- 「職場改善コンサルティング事業」において、企業ごとの個別支援や研修を実施し、人材確保や定着に関する課題解決を図りました。
- 市長と産業経済部職員で本市への進出企業や地元企業22社を訪問し、意見交換や施設見学を通じて企業の状況を把握したほか、「立地企業サポート事業」において、企業の声を集め、事業効果の確認と課題のヒアリングを行いました。

担当部署：工業雇用政策課

企業の技術課題解決に向けた支援を強化

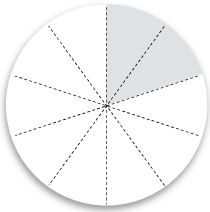


取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）

- テクノセンターにおいて、外部補助金を活用した機器整備を実施したほか、広報誌「テクノニュース」やホームページなどで導入機器を周知し、利用促進を図りました。さらには、導入機器の利用、依頼試験、技術セミナー等を実施し、地元企業への技術支援を強化しました。
- 技術経営相談窓口「C-base」において、高専、商工会議所と市が協力しながら中小企業等が抱える技術課題の解決を支援しました。
- 「苫小牧イノベーション活性化事業」を実施し、市内企業の新製品・技術・サービスの開発や技術課題、生産性向上などの取組を支援しました。

担当部署：工業雇用政策課、テクノセンター

事業承継の課題解消に向けた取り組みの推進

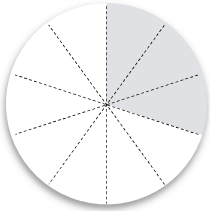


取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）

- 事業承継に関する理解と知識の普及を推進するため、事業承継セミナーを開催しました。
- 事業承継する際の費用負担を軽減するため、「事業承継推進給付金」の支給を実施しました。
- 北海道経済産業局の令和７年度「中小企業活性化・事業承継総合支援事業」による伴走支援を受け、「事業承継支援アクションプラン」を策定しました。

担当部署：工業雇用政策課、商業振興課

ICT活用による販路拡大の支援を強化



取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）

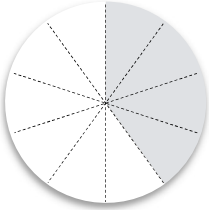
- ICT活用による販路拡大の支援を強化するため、ICTセミナーの開催と商店街のイベント開催や店舗改装の支援を実施したほか、新たに「ICT・インバウンド環境整備補助金」の制度を創設しました。

担当部署：商業振興課

02-4 人手不足対策、多文化共生の推進強化

02-4 進捗状況 30%

UIJターンによる地元就職者の支援を強化

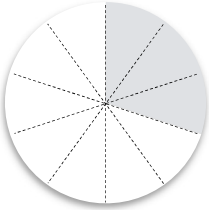


取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）

- 「奨学金等返還支援事業」を実施し、奨学金の返還支援を行ったほか、新たな登録者を募集し、若者のUIJターン及び市内就職促進を図りました。
- 胆振総合振興局や苫小牧公共職業安定所と共催で「令和８年３月高校卒業予定者向け企業説明会」を開催したほか、市内企業見学バスツアーや職業意識の醸成を図るセミナーを開催するなど、若年層とその保護者をターゲットに、地元企業・産業の仕事内容や特色、魅力を発信しました。
- 地方創生インターンシップ「TURE-TECH」において、道外大学生と連携し、市内高校生の地元就職促進策を検討しました。

担当部署：政策推進課、工業雇用政策課

インターンシップ受け入れ企業の拡充と支援の強化

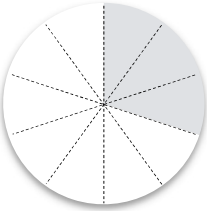


取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）

- 課題解決型インターンシップを実施し、受入企業の課題解決などが図られるよう支援しました。
- インターンシップの受入れをサポートする地域コーディネーターの養成に向け、受入マニュアルを作成しました。
- 企業のインターンシップ受入れを支援する「企業インターンシップ受入支援事業」を構築しました。
- インターンシップ受入れにおける企業の費用負担を軽減するため、「立地企業サポート補助金」の支援メニューを見直しました。

担当部署：工業雇用政策課

地元企業の外国人材及び移住者の受け入れ環境の整備を推進

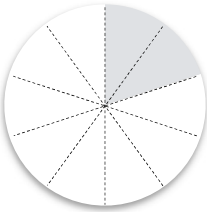


取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）

- 「外国人材受入企業支援補助金」を交付し、外国人受入企業と外国人のコミュニケーションの円滑化を支援しました。
- 外国人材採用勉強会を開催したほか、胆振総合振興局との共催で外国人材受入促進セミナーを開催し、市内企業に対する外国人雇用の周知啓発を行いました。

担当部署：工業雇用政策課

多文化共生の拠点作りの取り組みを推進



取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）

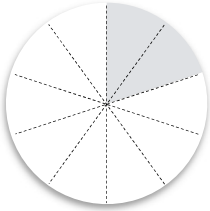
- 「苫小牧市多文化共生指針」を策定し、各施策の推進状況の把握や実施に向けた検討を行いました。
- 外国人相談窓口の設置や多文化共生ワークショップの開催など、多文化共生に関する各種取組を進めました。

担当部署：未来創造戦略室

02-5 世界から選ばれる苫小牧港を目指して更なる機能強化

02-5
進捗状況 25%

国際コンテナターミナルの運営体制の強化

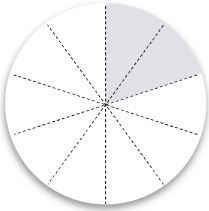


取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）

- 苫小牧国際コンテナターミナルの持続可能な運営に向け、「苫小牧国際コンテナターミナル運営懇談会」に参画し、港管理組合等と連携を図りながら、経営改善などの課題整理や次年度以降の取組について協議を行いました。

担当部署：企業港湾政策課

新規コンテナ航路の就航に向けた海外ポートセールスの実施

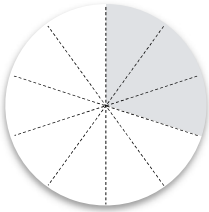


取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）

- 次年度以降の海外ポートセールス実施に向け、効果的な訪問先を選定するための検討を行いました。

担当部署：企業港湾政策課

キラキラ公園のさらなる活用に向けた取り組みを推進



取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）

- 「トマベイウォーターフロント」、「TOMAKOMAI MIRAI FEST 2025」を開催したほか、とまこまい港まつりのサブ会場としても使用するなど、キラキラ公園の活用を推進しました。
- 地方創生インターンシップ「TURE-TECH」において、道外大学生と連携し、「賑わいを提供するみなとまちづくり」をテーマに検討を行いました。

担当部署：観光政策課、企業港湾政策課

vision 03

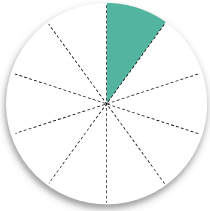
よい環境と活力あふれるまち 苫小牧
「新人間環境都市」への挑戦、賑わいと活力、よりよい環境を後世に渡せるまちづくり

Vision 03 進捗状況 24%

03-1 にぎわいあふれる駅前再開発、プロフィットセンターとしてのまちなか総合アリーナ建設への着手

03-1 進捗状況 14%

旧サンプラザビルの国補助を活用した公費解体の着手

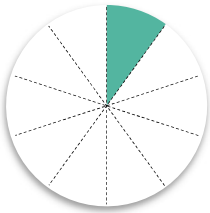


取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）

- 駅前再整備を進めるため、「リ・デザイン苫小牧グループ」と協定を締結し、共同で基本計画策定に着手しました。
- 補助金を活用した旧サンプラザビルの公費解体着手に向け、補助率や適用条件などについて協議を進めました。

担当部署：未来創造戦略室

駅前への行政機能の配置検討を推進

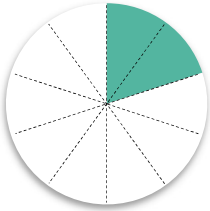


取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）

- 駅前へ移転対象となり得る行政機能の洗い出しと優先度の整理を行い、関係部局との意見交換や配置の方向性について検討しました。
- 駅前への子育て総合窓口機能の配置について、各種調査、協議、検討を実施しました。
- 道外先進都市を複数視察し、駅前再整備の方向性に関する情報収集を行いました。

担当部署：行政経営室、子育て応援課、科学センター

まちなかへの総合アリーナ建設に向けた構想策定に着手



取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）

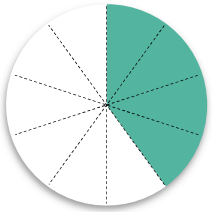
- 駅前再整備のパートナー事業者から総合体育館の移転計画との連携に関する提案があり、まちなかへの総合アリーナ建設の可能性について協議を行いました。
- 駅周辺エリアの建設候補地について、地権者と用地取得に向けた協議を行いました。

担当部署：スポーツ都市推進課、未来創造戦略室

03-2 ゼロカーボンシティの推進、GXの推進、水素・アンモニアの拠点都市へ

03-2 進捗状況 29%

自然環境と調和のとれた再生可能エネルギー施設の導入を促進

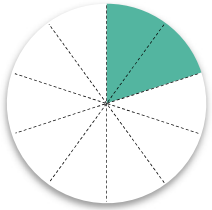


取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）

- 「苫小牧市自然環境等と再生可能エネルギー発電事業との調和に関する条例」を令和７年６月１日から施行しました。
- 遊休市有地を活用し、公共施設に再エネ電力を供給する地産地消の太陽光発電事業（オフサイトPPA）に係る公募型プロポーザルを実施し、事業者の選定を行いました。
- 幅広い業種とGXに関する連携を図るため、市内中小企業等と意見交換を行ったほか、飲食業者等向けGX認証制度の設計に着手しました。

担当部署：未来創造戦略室、ゼロカーボン推進室

先進的CCS推進による地元企業の脱炭素への貢献



取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）

- 苫小牧CCUS・ゼロカーボン推進協議会を通じて、CCUSをはじめとする先端技術や国内外のGX動向に関する講演会を開催しました。
- 専門家による技術解説や先進事例の紹介を通じて、地元企業が脱炭素化を「経営リスク」ではなく「持続的な成長機会」として捉えるための理解を深めました。

担当部署：企業港湾政策課

水素、アンモニアの国内への供給拠点の推進

取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）

- 苫小牧CCUS・ゼロカーボン推進協議会等を通じ、参画検討企業間の連携に向けた協議を進めました。
- 地域一体となった受入体制の構築と、国内への供給拠点の形成に向けた機運醸成を図りました。

担当部署：企業港湾政策課

苫東GX HUB構想の推進

取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）

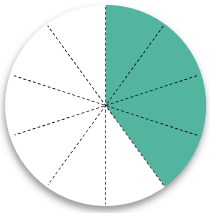
- 令和７年８月に公益社団法人全日本不動産協会北海道本部と「企業立地促進に関する協定」を締結しました。
- 既存の太陽光発電活用に加え、大規模に再生可能エネルギーを導入し、自営線によって立地企業に送電する「マイクログリッド」の構築に向けた国への申請や事業者からの相談等に対応するなど、苫東GX HUB構想の実現に向けた取組を進めました。

担当部署：企業港湾政策課

03-3 近未来の公共交通網の整備促進

03-3 進捗状況 30%

乗り合いタクシー実証運行(勇払地区)の実施



取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）

- 勇払地区における新たな移動手段の確保に向け、勇払地域と沼ノ端地域を結ぶ「AIオンデマンド乗合タクシー」の実証運行を実施し、課題の洗い出しを行いました。

担当部署：未来創造戦略室

人工知能(AI)デマンド型運行の取り組みを推進

取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）

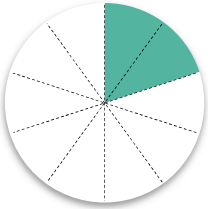
- 上記「AIオンデマンド乗合タクシー」の実証運行を実施したほか、苫東地区協力企業の従業員に対して通勤を支援する「AIデマンド乗合サービス」の運行を実施しました。
- 苫小牧駅を中心に東西に走る幹線である「東西基幹軸」を対象に、ソーシャルデジタルツイン（仮想空間）を用いたシミュレーションを行い、バスとデマンド交通の最適な組み合わせや、コスト、満足度の算出など、マイカーからの転換予測を含む効果検証を行いました。

担当部署：未来創造戦略室

03-4 国際リゾート構想(統合型リゾートを含む)の推進

03-4 進捗状況 20%

統合型リゾート誘致に向けた取り組みの再構築

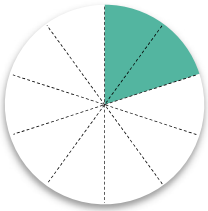


取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）

- 統合型リゾート誘致に向け、国や北海道の動向を注視しながら、情報収集や関係者間での認識共有を行い、国際リゾート構想の更新に向けた準備を進めました。

担当部署：未来創造戦略室

新千歳空港周辺の土地活用の推進



取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）【再掲】

- 統合型リゾート誘致に向け、国や北海道の動向を注視しながら、情報収集や関係者間での認識共有を行い、国際リゾート構想の更新に向けた準備を進めました。

担当部署：未来創造戦略室

03-5 ゼロごみのまちの更なる進化

03-5 進捗状況 30%

家庭ごみ収集体制の再構築

取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）

- 安定的かつ持続可能な収集サービスの提供を行うため、ごみ収集方式に関する市民アンケートを実施しました。
- うぐいす団地町内会において住民アンケートを実施し、15世帯を４か所のステーションに集約するなど、戸別収集地区へアプローチするためのモデルケースを確立しました。

担当部署：ゼロごみ推進課

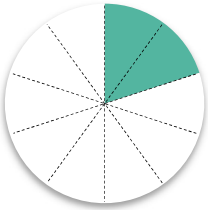
ゴミ拾いをする市民協力者へのインセンティブ付与

取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）

- 市民の環境意識を高め、具体的かつ持続可能な行動を推進するための「（仮称）環境マイスター認定制度」の創設に向け、事業手法や本制度の対象となる事業、既存事業の活用などを検討し、要綱案の作成を進めました。

担当部署：ゼロごみ推進課

ごみ処理施設の広域化の検討



取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）

- 次期埋立処分場の整備に向け、安平・厚真行政事務組合と継続して協議を行いました。

担当部署：ゼロごみ推進課

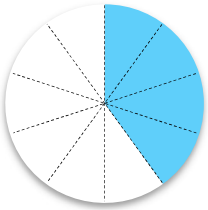
教育のまち 苫小牧
困難を乗り越え世界で活躍できる人材育成！！

Vision 04 進捗状況 52%

04-1 夢を語る子どもと実現させる教育環境づくり

04-1 進捗状況 63%

夢実現教育の推進

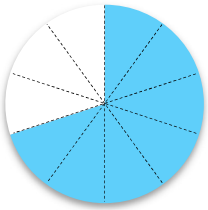


取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）

- 子ども達が地域の課題を自分事として捉え、課題解決能力を育成する「地域課題解決プログラム」の構築やモデル校の選定、モデル校との協議によるスケジュール作成を行いました。
- 子ども達の語学力及びコミュニケーション能力を形成する「グローバル教育プログラム」の構築に関する協議と視察を行いました。
- 夢を語る子どもたちの育成に向け、「夢実現教育2025実施報告書」の作成や「親子で夢読書」強調月間の実施、「未来へのメッセージ」動画の公開など、各種取組を実施しました。

担当部署：総務企画課、指導室

グローバル人材育成と英語教育の進化

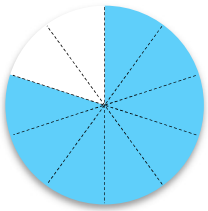


取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）

- イングリッシュ・カフェの実施やALTの複数派遣を６校で実施するなど、英語に触れる機会や実践的なコミュニケーションの機会を拡充しました。
- 児童生徒の英語によるコミュニケーション力向上を目指した「外国語教育推進プラン」を策定しました。
- 外国語研究委員会による、授業改善及び言語活動についての研究・実践を行いました。

担当部署：指導室

お金の教育



取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）

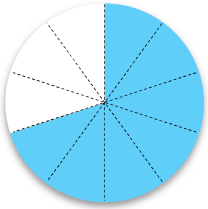
- 子どもたちが暮らしや社会経済について主体的に考える機会となるよう、市内金融機関が中心となり、お金に関する出前講座を実施しました。

担当部署：指導室

04-2 創造的な学びができる学校の実現

04-2
進捗状況 70%

不登校校内教育支援センターの全小中学校設置の推進

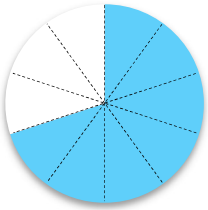


取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）

- 市内全小・中学校及び義務教育学校に校内教育支援センターを設置しました。
- 不登校対策支援員を24名（小学校15名、中学校９名）配置しました。
- 「校内教育支援センター実践事例集」を作成し、環境整備と支援体制の充実を図りました。

担当部署：指導室

不登校特定校設置を含む、子どもたちの選択肢を増やす取り組みを推進

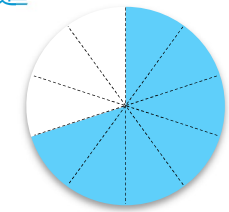


取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）

- 「不登校対策研究委員会」において効果的な対応を研究したほか、リーフレットを作成し、市内全小・中学校及び義務教育学校の教職員に情報提供を行いました。
- 教育支援センター「あおば学級」における医療機関との連携体制を構築しました。
- フリースクール等の民間施設を定期的に訪問し、協力関係を強固にしました。

担当部署：指導室

保護者対応体制の構築による教師の負担軽減策の取り組みを推進



取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）

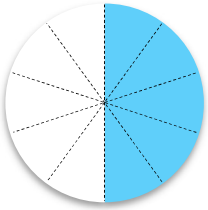
- 北海道教育委員会が作成した教職員向け働き方改革リーフレットやスクールロイヤー活用事例・活用校アンケート結果を配布するなど、スクールロイヤーの活用を周知し、教職員の業務負担及び心理的負担の軽減につなげる取組を実施しました。

担当部署：学校教育課

04-3 小中学校規模適正化の取り組みを加速化

04-3 進捗状況 50%

子どもたちにとってより適切な規模の学校づくりを推進



取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）

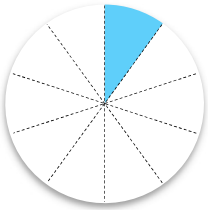
- 子どもたちの教育環境を向上させるため、保護者アンケートや校長会との意見交換を行いながら、「苫小牧市立学校再編ビジョン（素案）」を策定・公表しました。

担当部署：総務企画課

04-4 理系人材育成につながる科学センター構想の推進

04-4 進捗状況 15%

半導体やゼロカーボンなどをはじめとする、苫小牧ならではのキャリア教育につながるサイエンスパークとしてリニューアルを目指す



取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）　【一部再掲】

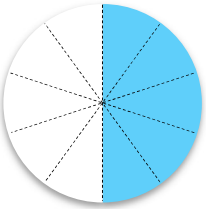
- 駅前再整備基本計画の中で、サイエンスパークの機能構築に向けた協議を実施しました。
- 道外先進都市を複数視察し、駅前再整備の方向性に関する情報収集を行いました。
- 未来まちづくり戦略に基づく地方創生事業において、既存事業にGXの要素を掛け合わせた、新たな人材育成を検討しました。

担当部署：未来創造戦略室、科学センター

04-5 いじめ撲滅！！相手を思いやる心とコミュニケーション力の醸成する取り組みを推進

04-5 進捗状況 63%

ネット中傷防止条例の制定

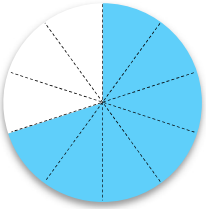


取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）

- 小学校生徒指導連絡協議会において、「子どもと一緒に考える安全・安心な情報機器利用のためのガイドライン」の周知を行うなど、ネットトラブル未然防止に関する理解の促進を図りました。
- 法務省のインターネット上の書き込みに関する相談・通報窓口や、総務省のインターネットトラブル事例集などを定期的に周知し、ネットトラブル未然防止等の取組を推進しました。

担当部署：指導室

若者の自殺ゼロのまちを目指す

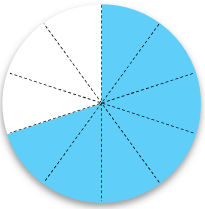


取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）

- 市内の小・中学校及び義務教育学校37校中36校において、「SOSの出し方に関する教育」を実施しました。
- 悩みや相談を受け止める相談窓口の周知を定期的に行いました。
- 小学校３校、中学校15校、高校８校において、若者層向け「いのちの授業」を実施しました。
- 教職員向けゲートキーパー養成講座を開催しました。
- 「こころといのちの講演会」を実施し、こころの健康づくりを推進する取組を実施しました。

担当部署：健康づくり課、こども家庭支援室、指導室

子どもたちのコミュニケーション力向上の取り組みを推進



取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）

- 「道徳教育推進パッケージ」を展開し、体系的に道徳教育について研修できる環境を整えました。
- 教育研究所授業改善研究委員会から、道徳の授業づくりに関する情報発信を行いました。
- 外部講師を招聘し、教職員向けに道徳の授業づくりに関する研修講座を開催しました。
- 命の尊さを根源にして、助け合うことの意味、自然や動植物との共生などを児童生徒に直接語りかける「こころの授業」を市内全小・中学校及び義務教育学校で実施しました。

担当部署：指導室

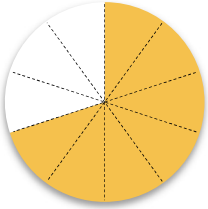
医療・ふくし、防災のまち 苫小牧
思いやりの心が育む、誰もが安心して暮らせるまちづくり

Vision 05 進捗状況 44%

05-1 医療＆介護DXの推進による効率化

05-1 進捗状況 35%

地域共生社会の実現に向けた重層的支援体制の整備

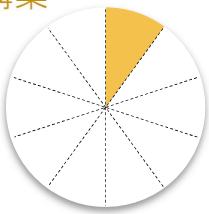


取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）

- 令和７年４月から、複雑・複合化した課題を有する世帯に対して「属性を問わない相談支援」、「参加支援」、「地域づくりに向けた支援」の３つの支援を一体的に実施し、市全体の支援機関と地域の関係者がつながり続ける「重層的支援体制整備事業」を開始しました。

担当部署：総合福祉課

患者サービスの向上により選ばれる病院を構築

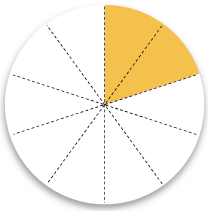


取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）

- 「医療費後払いシステム」及び「採血支援システム」を導入しました。
- 持続可能な地域医療サービスの提供を図るため、「地域医療・介護連携プラットフォーム会議」を設置し、医療DX等の協議を実施しました。
- 市内医療介護関係者の課題や問題点等を把握するため、「地域医療情報連携ネットワーク導入コーディネイト事業」を実施しました。

担当部署：医療介護連携課、経営管理課、医事課、医療DX推進室

職員のITスキルの向上施策の実施



取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）

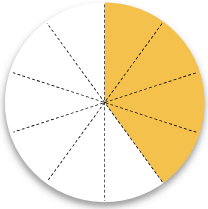
- 市立病院において、職員研修として４月に新任者、５月に既存職員向けに医療情報システムの安全管理に関する研修を実施しました。
- 国が整備を進める「科学的介護情報システム」や「ケアプランデータ連携システム」の活用促進を図るため、研修会開催や取組事例集の周知、活用方法についての助言等を行いました。
- 「ケアプランデータ連携システム」のフリーパスキャンペーン（ライセンス料が無料になる制度）対象期間外に発生する利用料の補助を行いました。
- 医療・介護機関へのアンケート調査やシステムデモ会等を実施し、「地域医療情報連携ネットワーク」構築に向けた関係者の機運醸成を図りました。

担当部署：医療介護連携課、介護福祉課、経営管理課、医療DX推進室

05-2 東胆振・日高地域の医療圏域の確立

05-2 進捗状況 52%

安心して出産、子育てができる環境の維持に資する周産期医療取り組みを強化

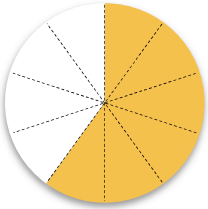


取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）

- 医師・助産師など、必要な医療スタッフの確保を継続しました。
- 妊娠・出産・子育てに関するさまざまな相談に応じる「とまこまいこども家庭センター」において、「妊婦等包括相談支援事業（伴走型相談支援）」を推進しました。
- 「産前・産後サポート事業」に加え、母体の健康管理の推進を行うなど、妊産婦が安心して出産・育児に臨めるよう支援体制の充実を図りました。

担当部署：こども家庭支援室、経営管理課、医事課

救急医療及び新興感染症対応の中心的役割の取り組みを強化



取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）

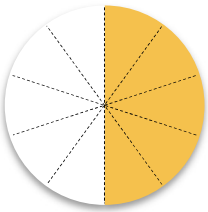
- 感染症対策に必要となる医療資材などの備蓄品を確保しました。
- 苫小牧市医師会と連携しながら、一次救急医療及び二次救急医療体制を堅持しました。
- 「苫小牧市新型インフルエンザ等行動計画」を改定し、新興感染症の対応を強化しました。

担当部署：医療介護連携課、健康づくり課、経営管理課

05-3 防災インフラの充実と市民意識の向上

05-3 進捗状況 46%

地域防災計画の見直し



取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）

- 地震や大雨などの災害から市民の命と暮らしを守る「苫小牧市地域防災計画」を令和８年３月に改訂しました。
- 防災教育の推進に取り組み、市民意識の向上を図りました。

担当部署：危機管理室

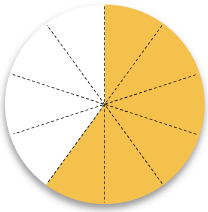
津波避難困難地域における対策の強化

取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）

- 勇払地区について、「勇払公民館屋上避難整備事業」として、令和７年度に避難階段及び屋上転落防止柵の設置と備蓄品の整備を進め、令和８年３月から一時避難場所として供用を開始しました。
- 錦糸・ときわ地区における津波避難施設整備に関する方針の検討を進めました。

担当部署：危機管理室

救急車の不適正利用防止対策による救える命の確保



取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）

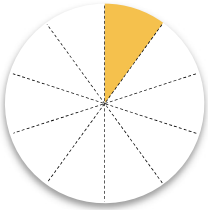
- 市民を対象に救命講習や各種イベント、SNS等での救急車適正利用のPRを実施しました。
- マイナ救急システムを活用した救急業務を推進し、医療機関との連携強化を図りました。
- 救急活動資器材を充実させ、救える命の確保に努めました。

担当部署：救急課

05-4 障がいのある方が住みやすいまちづくりの推進

05-4 進捗状況 20%

企業向けあいサポーター事業の展開



取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）

- 障がい者雇用に取り組む企業から、業務内容や受入体制などの情報収集を行いました。
- 令和８年度からの「企業向けあいサポーター事業」について、「福祉のまちづくり推進会議」で説明を行いました。

担当部署：障がい福祉課

障がい者雇用率の引き上げに伴う雇用の拡大を推進

取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）

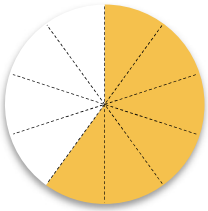
- 令和７年度から、国の助成金の活用の有無に関わらず、障がい者を「常用雇用労働者」として新たに雇用する事業主へ奨励金を交付する制度へとリニューアルし、障がい者雇用の拡大を推進しました。

担当部署：工業雇用政策課

05-5 高齢者が安心して暮らせる環境整備の推進

05-5 進捗状況 70%

介護ロボット、ICT活用の推進

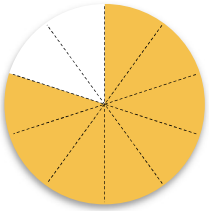


取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）

- 令和７年11月に、介護ロボット・ICT機器・ケアプランデータ連携システムのデモ機の展示や、厚生労働省及び道内の特別養護老人ホーム等の担当者による講義を盛り込んだ「介護現場生産性向上講習会」を開催し、介護現場における介護ロボット・ICT活用の推進を図りました。

担当部署：介護福祉課

見守り支援の強化



取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）

- 令和７年10月から、高齢者等の緊急時における迅速な救護活動を支援する「高齢者等緊急通報システム」の機能強化（人感センサーの設置等）や利用者拡大に向けた各種要件緩和を行うなど、高齢者等の見守り支援体制を強化しました。

担当部署：総合福祉課

vision 06

「スポーツ×文化×観光×健康」のまち 苫小牧

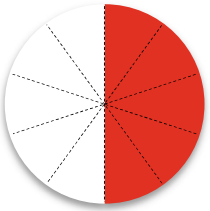
スポーツと文化を基軸にした観光経済促進と健康増進！！

Vision 06 進捗状況 47%

06-1 スポーツ観光都市 苫小牧の推進

06-1 進捗状況 65%

スポーツ都市におけるポテンシャルの発信を強化

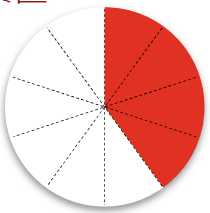


取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）

- Jリーグクラブ名古屋グランパスのキャンプ誘致に向け、市長自らがトップセールスを行った結果、同クラブが本市でキャンプを実施することが令和７年９月に決定しました。
- 「氷都とまこまい体感プログラム」において、アイスホッケーの競技環境をPRし、移住促進に取り組みました。
- 「苫小牧市MICE誘致推進協議会」などと連携し、駅伝チーム等への営業活動を実施しました。

担当部署：スポーツ都市推進課

苫小牧版庁内DMO（観光地域づくり）を設置

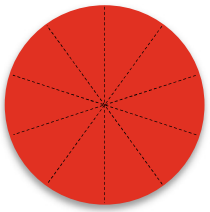


取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）

- 庁内関係部署による庁内検討会議を開催し、これから本市が行うべき観光施策について検討を行いました。
- 令和８年度から「観光スポーツ室」を設置し、MICEを効果的に推進する体制を構築しました。また、外部専門家による研修や商談会等での実践を通じ、職員の専門性向上を図りました。

担当部署：観光政策課

プロスポーツチームのキャンプ及び全国、国際大会等の誘致推進



取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）　【一部再掲】

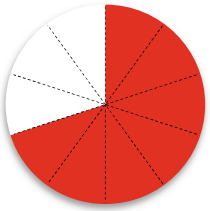
- 「苫小牧市MICE誘致推進協議会」などと連携し、沖縄で実施しているJリーグキャンプを視察したほか、複数クラブの本市視察対応を実施しました。
- Jリーグクラブ名古屋グランパスのキャンプ誘致に向け、市長自らがトップセールスを行った結果、同クラブが本市でキャンプを実施することが令和７年９月に決定しました。
- 日本学生氷上競技選手権大会（インカレ）の誘致を行った結果、令和８年12月から令和９年１月にかけて本市で同大会が開催されることが決定しました。

担当部署：スポーツ都市推進課

06-2 芸術文化で豊かな心をつなぐまちづくりの推進

06-2 進捗状況 70%

美術博物館、図書館を活用して文化芸術でつながる事業を展開



取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）

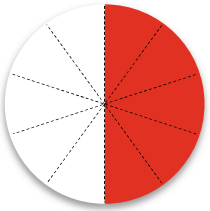
- 出光カルチャーパークを会場に、美術博物館、図書館、サンガーデンの３館が協力して、市民が気軽にアートを楽しむことができるアートフェスティバルを令和７年７月に開催しました。

担当部署：生涯学習課、美術博物館

06-3 文化イベントの誘致強化による観光促進

06-3 進捗状況 40%

市民文化ホールを活かした芸能イベントの誘致推進

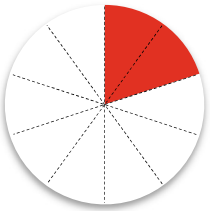


取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）

- 市民の鑑賞機会の充実や発表の場の提供、活動支援のため、乳幼児から大人まで楽しめる「Stand up TOMAKOMAI」や「PMF」などの「苫小牧音楽祭」や、子どもたちのための「しおさいコンサート」を開催しました。
- 令和７年６月に、EZOHUB TOKYOにおいてPFI事業者と協働で市民文化ホールの施設PRを行いました。
- 広報とまこまいや全国各所の公共施設を紹介した情報誌に加え、PFI事業者が持つ様々な方面への広報媒体を活用し、市民文化ホールのコンセプトや、施設概要について幅広い周知を行いました。

担当部署： 地域活動支援室、生涯学習課

ホテル閑散期の冬季イベントの誘致推進



取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）

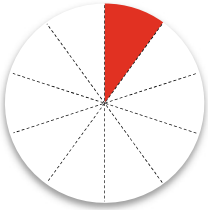
- 冬期間の宿泊需要の喚起を目的に、「ウマ娘×苫小牧市」のクイズラリーを令和８年１月から２月に開催しました。
- 市内中心部の観光施設にクイズスポットを設置し、参加者が施設を巡りながら、ウマ娘・ホッコータルマエが限定ボイスで各施設の魅力を紹介する企画を行いました。

担当部署：観光政策課

06-4 スポーツと健康増進を融合させた事業展開

06-4 進捗状況 10%

アプリを活用した健康事業（ウォーキング）の構築



取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）

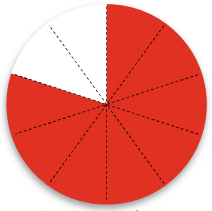
- 健康アプリについて、調査を実施しました。
- 医療DXにおける「地域医療情報連携ネットワークシステム」により導入が予定されている「パーソナルヘルスレコード」を用いたアプリの導入を検討しました。
- 庁内関係部署との意見交換を実施し、アプリを活用した健康事業の検討を進めました。

担当部署：スポーツ都市推進課、医療介護連携課、健康づくり課

06-5 宿泊税と観光振興策

06-5 進捗状況 50%

北海道と同時期に本市宿泊税の導入を目指す

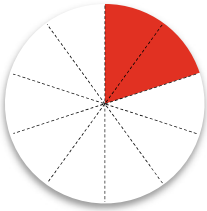


取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）

- 学識経験者等を交えた宿泊税に関する懇談会を開催し、宿泊税の概要等を決定しました。
- 宿泊税条例が市議会で可決されました。

担当部署：観光政策課

宿泊税を原資とした観光施設及びスポーツ合宿の支援強化

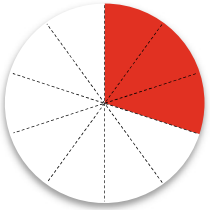


取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）

- 宿泊税の使途に関する庁内検討会議を複数回開催し、検討を行いました。
- 宿泊税に関する懇談会及び宿泊事業者説明会を開催し、宿泊税の使途の方向性について、意見聴取を行いました。
- 西港フェリー等の港湾施設や工場夜景をモデルコース化し、専門ガイドによる解説付き視察を実証しました。
- MICEホームページや補助金制度を整備し、東京で開催された商談会でPRを行いました。

担当部署：観光政策課

ぷらっとみなと市場の老朽化対策を推進

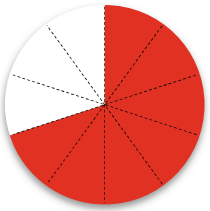


取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）

- ぷらっとみなと市場の老朽化対策の推進に向け、再整備計画策定業務を実施したほか、水抜栓交換等の老朽化対策を実施しました。
- 公設地方卸売市場も含めた漁港区エリアにおけるリブランディング構想の検討を実施しました。

担当部署：商業振興課

産業観光の強化



取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）

- 市内中学生を対象に、港湾関連企業の工場見学や船舶の内部を見学するツアーを実施しました。
- ビジット苫小牧観光会議の委員を対象に、釣り体験と工場夜景観賞を組み合わせたモニターツアーを実施しました。
- 「産業観光ガイドブック」の改訂を行いました。

担当部署：観光政策課

vision 07

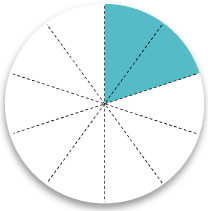
市民総活躍のまち 苫小牧
官民連携、自治体連携、全市民・団体と市役所の力を結集！！

Vision 07 進捗状況 42%

07-1 民間ではやらない・できないことに公共は特化、自治体DXの推進

07-1 進捗状況 46%

既成概念にとらわれない、公共が担うべき事業の徹底的見直し

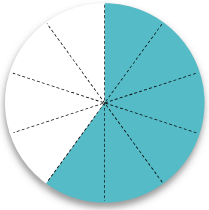


取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）

- 市役所で実施する各種事務事業について、個人や部署の提案に基づき事業の目的や必要性等の検討を行うなど、「戦略的事業点検」を実施し、令和７年度事業の見直しを行いました。
- 「苫小牧市スマートシティ官民連携協議会」とさらなる連携強化をするため、民間企業等との連携を図りました。
- 自動運転バスなどの先進技術の社会実装に向けた検証を行い、市民サービスの質の向上に向けた取組を実施しました。

担当部署：DX推進室、行財政改革推進室

市役所業務（水道業務等）の民間委託拡大

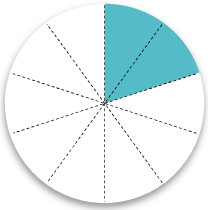


取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）

- プロポーザルにより選定された事業者と令和７年１月に「水道窓口等業務委託契約」を締結し、令和７年10月から委託を開始しました。
- 「行政改革の推進に関する連携協定」に基づき、事業者から業務量調査結果の提出を受け、民間委託の拡大について検討を進めました。

担当部署：行財政改革推進室、水道窓口課

港まつり、スケートまつりの実施体制の見直し

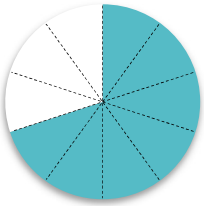


取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）

- 港まつりについて、ステージや出店関係など事務局機能の一部を民間委託しました。
- スケートまつりについては、令和６年度に続き事務局機能の一部を民間委託しました。

担当部署：観光政策課

ICT導入による業務効率化の推進



取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）

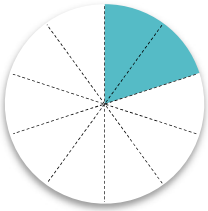
- 業務環境で利用できる生成AIサービスを全庁に導入するとともに、職員向け研修を継続的に実施しました。
- 文書管理システムの機能を改善したほか、文書事務ハンドブックの改訂や、文書管理システム通信の発行を行いました。

担当部署：DX推進室、法務文書課

07-2 投資効果の検証による公共施設の適切な整備の推進

07-2 進捗状況 32%

人口減少に見合う施設規模のあり方を再構築

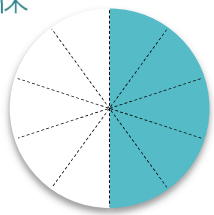


取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）

- 「第２期苫小牧市総合管理計画」の策定に向け、市民アンケートや各施設のヒアリング調査、分析等を行いました。
- 令和８年３月に、ときわスケートセンターを閉館しました。
- まちなかアリーナの検討に際して、現総合体育館の利用量を調査したほか、他スポーツ施設やコミセン、学校開放の利用枠に振り分けた場合の分析を実施しました。
- 「苫小牧市営住宅整備計画」に基づき、令和７年度に78戸を削減するなど、管理戸数の適正化を図りました。

担当部署：スポーツ都市推進課、行財政改革推進室、住まい支援課

民間施設を有効活用した市営住宅戸数の縮減及び移住者枠の確保

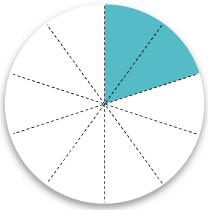


取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）

- 「改正住宅セーフティネット法」を踏まえた民間活用について、先進自治体の事例を調査・研究しました。
- 不動産や福祉事業者など、関係者のネットワーク構築に向けた研修会を開催しました。
- 地域における居住支援体制構築に向け、令和８年３月に「居住支援協議会設立準備会」を設立しました。

担当部署：住まい支援課

公設地方卸売市場水産棟の再整備計画の策定



取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）

- 市場関係者と必要機能・面積等を協議し、課題を確認しました。
- 公設地方卸売市場を含めた漁港区エリアの再整備とにぎわい創出を目指して、漁港区リブランディングに関する再整備事例の把握や活用可能な財源の検討を行い、方向性を整理しました。

担当部署：農林水産振興課

07-3 あらゆる市民・企業・団体・自治体のアイデアや力を最大限活用したまちづくり

07-3 進捗状況 51%

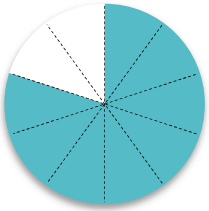
男女共同参画社会の推進

取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）

- 「市長とジェンダーミーティング」を開催し、女性特有の健康課題への理解や働き続けるためのモチベーション維持などについて認識を共有しました。
- LGBT理解増進のための出前授業を実施したほか、「LGBT理解増進講演会」を開催しました。
- 「PRIDE指標2025」において、２年連続となる最高賞を受賞しました。
- 困難な問題を抱える女性及びDV被害者への支援を適切かつ円滑に行うための会議体設置に向け、関係法令や先駆事例の調査等を行いました。

担当部署：協働男女平等参画室

部活動指導員、部活動地域移行への市職員人材の活用

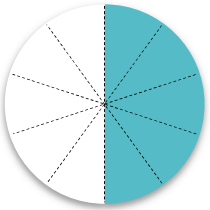


取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）

- 地域における部活動・地域クラブ活動の指導者確保を目的として、令和７年８月に「学校部活動・地域クラブ活動人材バンク指導者サポートNavi『苦サポ』」を設置しました。
- 『苦サポ』について、市内の公共施設へのポスター掲示に加え、広報とまこまいや、スポーツイベントなどを活用し、企業や市民等へ登録を周知しました。
- 市役所における令和８年度からの社会貢献活動に関する兼業制度導入に向け、営利企業等従事の新たな基準を設定し、職員周知を行いました。

担当部署：行政経営室、学校教育課

居場所づくり、こども食堂、駅前再開発、各イベント開催等における官民連携の強化



取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）　【一部再掲】

- こども食堂運営実施団体への補助金上限額の引上げや学校の長期休暇期間中の開催に対する加算を設けるなど、こども食堂の継続実施を支援しました。
- 令和７年度は６社と包括連携協定を締結し、同企業には市イベントの周知等の協力をいただきました。
- 駅前再整備を進めるため、「リ・デザイン苫小牧グループ」と協定を締結し、共同で基本計画策定に着手しました。
- 公共、民間、大学が連携したまちづくりの組織である「UDC苫小牧」を組成し、ソフト事業での協働や都市デザインへの助言を行いました。

担当部署：協働男女平等参画室、未来創造戦略室、子育て応援課

企業/大学/他自治体等との連携協定締結を拡大し、教育、環境、健康増進、防災等あらゆる分野における、より強固なまちづくりの推進環境をつくる

取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）

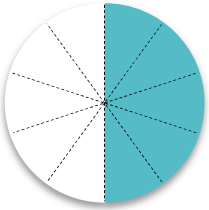
- 北洋大学と連携し、スポーツや福祉など、幅広いジャンルの市民公開講座を実施しました。
- 持続可能な町内会活動のためのビジョン策定に向け、他市町村における類似ビジョンなどを調査しました。
- 令和７年度に新たに７社と包括連携協定等を締結しました。
- 連携協定を締結している企業等と連携し、健康意識向上に資する取組を行いました。
- 地元企業及び北大研究林との連携による自然観察バスツアーを実施しました。
- 令和７年度からの「東胆振定住自立圏共生ビジョン」を策定したほか、東胆振定住自立圏の更なる住民サービス向上のため、４町と連携しながら新たに広域化する取組を検討しました。
- 新たに14件の災害時応援協定を締結し、ペット避難や車両活用など、多様なニーズに対応した連携体制の強化を図ったほか、津波避難ビルの協定を新たに２件締結しました。

担当部署：政策推進課、 協働男女平等参画室、危機管理室、地域活動支援室、環境生活課、健康づくり課、企業港湾政策課、総務企画課

07-4 みながワクワクして働く市役所づくり、市政課題解決のための戦略的人材登用や人材交流、PT活用の促進

07-4
進捗状況
40%

ひとりひとりの職員をより大事にする市役所づくり



取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）

- 人事評価制度の見直しを実施したほか、職員の人材情報を一元管理し、最適な配置、育成、採用に活用する「タレントマネジメントシステム」導入自治体の視察を行いました。
- 「業務遂行レベルに着目した復職プログラム」の導入にあたり、行政経営室にシニアアドバイザー（役職定年者）を配置しました。
- 新たにハラスメントの外部相談窓口を設置しました。

担当部署：行政経営室

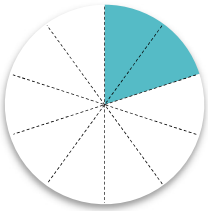
社会課題解決に迅速に対応できる、より機動的な組織への変革と働き方改革

取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）

- 職員が心身ともに健康であることは、組織の活性化や生産性の向上につながり、質の高い行政サービスの提供につながるとの考えのもと、健康経営に関する取組を続け、「健康経営優良法人（大規模法人部門）」の認定を６年連続で受けました。
- 業務状況に応じて職員を柔軟に配置できる体制の運用について、協議を行いました。

担当部署：行政経営室

市役所内フリーアドレス化の推進



取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）

- ６階西フロア及び７階の一部について、フリーアドレス化を実施しました。
- 令和８年度での検証に向けた予算化と今後の端末更新の基本方針策定を行いました。
- 固定電話無線化の検討及び公用スマートフォンを導入している先進自治体への視察を行いました。

担当部署：行政経営室、DX推進室、総務課

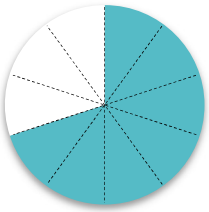
戦略的官民人材交流の推進

取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）

- 中央省庁（内閣府、総務省、国土交通省、経済産業省、環境省）への研修派遣を実施しました。
- 公益的法人（道央産業振興財団、観光協会、スポーツ協会）への派遣のほか、新たに令和８年４月から医師会へ派遣を開始しました。

担当部署：行政経営室

役職定年者を調整官、推進官、専門官として有効活用



取組事業内容（令和７年１月～令和８年３月末）

- 役職定年職員のうち部長職経験者を、シニアアドバイザー（係長職相当）として配置し、長年の業務経験を通じて培った豊富な知識とスキルをもって、指導や調整、相談などの業務に取り組みました。

担当部署：行政経営室

Ⅱ　市長公約取組状況総括表

（令和7年1月から令和8年3月までの実施内容）

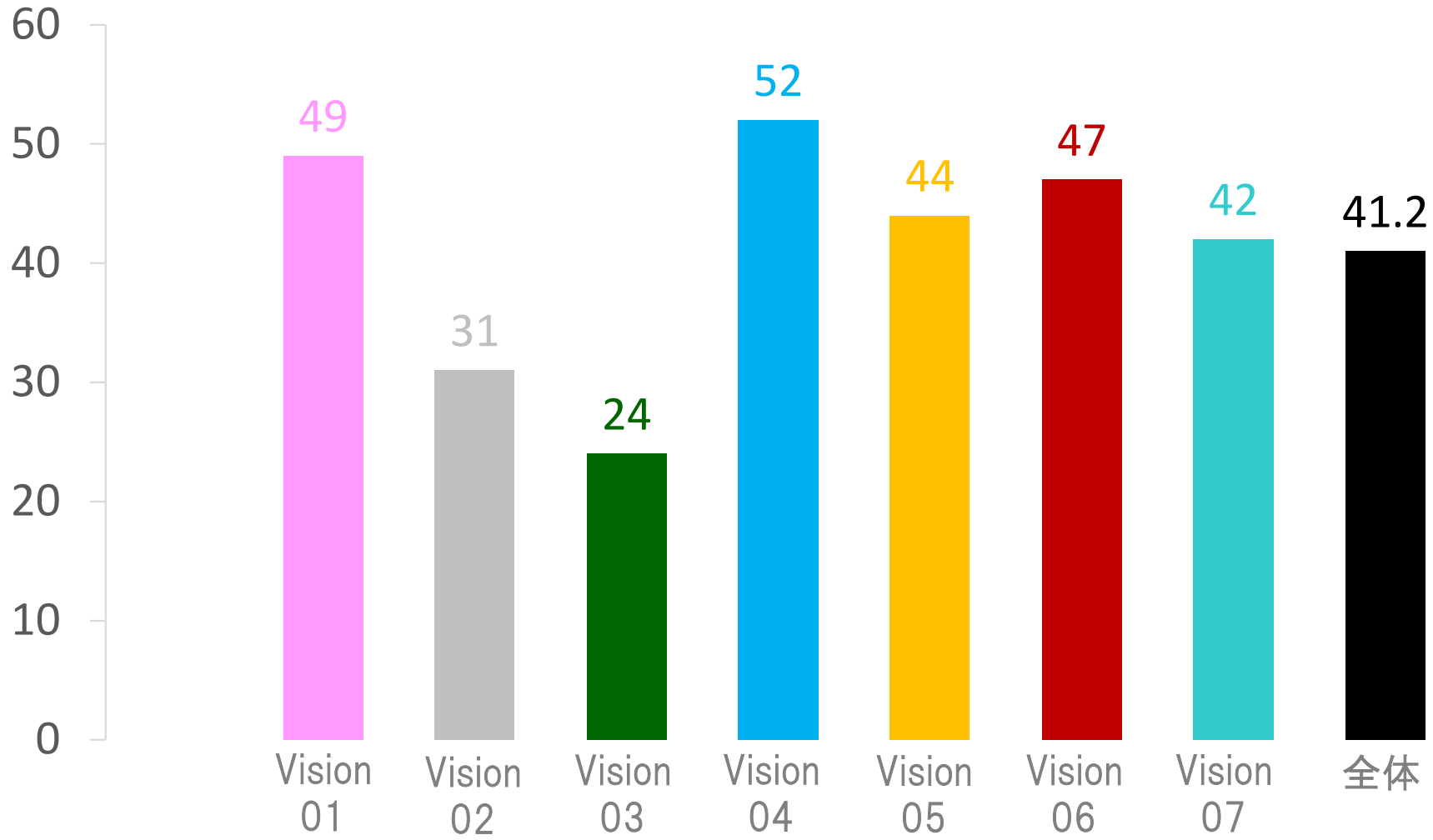
公　約　区　分		進捗状況【%】（令和７年度末）
０１	**子どもど真ん中のまち 苫小牧** **未来ある子どもたちへの投資促進！！**	**４９**
１	子育て支援策の拡充	９５
２	子育て機能の拠点形成	２２
３	子ども若者のメンタルヘルスケアの推進	２５
４	ヤングケアラー支援体制の強化と進化	６０
５	医療的ケア児への支援体制強化	４５
０２	**経済発展最大化のまち 苫小牧** **雇用を生んで、ストップ人口減！！企業とともに歩む！！民間投資促進へトップセールス！！**	**３１**
１	苫小牧ブランドの発信による関係人口の増加	３０
２	企業誘致のトップセールス実施、企業アプローチの体制強化	４３
３	既存企業へのフォローアップ強化	２７
４	人手不足対策、多文化共生の推進強化	３０
５	世界から選ばれる苫小牧港を目指して更なる機能強化	２５

公　約　区　分		進捗状況【%】（令和７年度末）
０３	**よい環境と活力あふれるまち 苫小牧** **「新人間環境都市」への挑戦、賑わいと活力、よりよい環境を後世に渡せるまちづくり**	**２４**
1	にぎわいあふれる駅前再開発、プロフィットセンターとしてのまちなか総合アリーナ建設への着手	１４
2	ゼロカーボンシティの推進、GXの推進、水素・アンモニアの拠点都市へ	２９
3	近未来の公共交通網の整備促進	３０
4	国際リゾート構想（統合型リゾートを含む）の推進	２０
5	ゼロごみのまちの更なる進化	３０
０４	**教育のまち 苫小牧** **困難を乗り越え世界で活躍できる人材育成！！**	**５２**
1	夢を語る子どもと実現させる教育環境づくり	６３
2	創造的な学びができる学校の実現	７０
3	小中学校規模適正化の取り組みを加速化	５０
4	理系人材育成につながる科学センター構想の推進	１５
5	いじめ撲滅！！相手を思いやる心とコミュニケーション力の醸成する取り組みを推進	６３

公　約　区　分		進捗状況【%】（令和７年度末）
０５	**医療・ふくし、防災のまち 苫小牧** **思いやりの心が育む、誰もが安心して暮らせるまちづくり**	**４４**
1	医療＆介護DXの推進による効率化	３５
2	東胆振・日高地域の医療圏域の確立	５２
3	防災インフラの充実と市民意識の向上	４６
4	障がいのある方が住みやすいまちづくりの推進	２０
5	高齢者が安心して暮らせる環境整備の推進	７０
０６	**「スポーツ×文化×観光×健康」のまち 苫小牧** **スポーツと文化を基軸にした観光経済促進と健康増進！！**	**４７**
1	スポーツ観光都市 苫小牧の推進	６５
2	芸術文化で豊かな心をつなぐまちづくりの推進	７０
3	文化イベントの誘致強化による観光促進	４０
4	スポーツと健康増進を融合させた事業展開	１０
5	宿泊税と観光振興策	５０

公　約　区　分		進捗状況【%】（令和７年度末）
０７	**市民総活躍のまち 苫小牧** **官民連携、自治体連携、全市民・団体と市役所の力を結集！！**	４２
1	民間ではやらない・できないことに公共は特化、自治体DXの推進	４６
2	投資効果の検証による公共施設の適切な整備の推進	３２
3	あらゆる市民・企業・団体・自治体のアイデアや力を最大限活用したまちづくり	５１
4	みながワクワクして働く市役所づくり、市政課題解決のための戦略的人材登用や人材交流、PT活用の促進	４０
全　体		**41.2**

市長公約取組進捗状況（令和７年１月から令和８年３月までの実施内容）



Vision01　：　子どもど真ん中のまち 苫小牧　未来ある子どもたちへの投資促進！！
Vision02　：　経済発展最大化のまち 苫小牧　雇用を生んで、ストップ人口減！！企業とともに歩む！！民間投資促進へトップセールス！！
Vision03　：　よい環境と活力あふれるまち 苫小牧　「新人間環境都市」への挑戦、賑わいと活力、よりよい環境を後世に渡せるまちづくり
Vision04　：　教育のまち 苫小牧　困難を乗り越え世界で活躍できる人材育成！！
Vision05　：　医療・ふくし、防災のまち 苫小牧　思いやりの心が育む、誰もが安心して暮らせるまちづくり
Vision06　：　「スポーツ×文化×観光×健康」のまち 苫小牧　スポーツと文化を基軸にした観光経済促進と健康増進！！
Vision07　：　市民総活躍のまち 苫小牧　官民連携、自治体連携、全市民・団体と市役所の力を結集！！